



年間の全部入りコースで、
お願いね!



信じられない!信じられない
!信じられな————い!



THE VOICE

Your voice - Brand voice



VALUES

対話の力

独創性

多様性

成功への伴走

豊かさの共創

BSVには何
がある？



新社長 平野隆之氏からのご挨拶



Xin chào!

Takayuki Hirano

気軽に「ヒラノ」と呼んでください。今年52歳になります。青山学院大学経済学部を卒業しました。1998年からベルシステム24ホールディングスで働き始め、現在に至ります。

旅行と世界を探求することが趣味の一つなんです。様々な国を訪れる機会があり、ベトナムもその一つです。



事業開発 - 10年

人事 - 3年半

CRM事業本部長 - 2年

1

2

3

4

5

6

オペレーション管理
3年半

事業部長
4年

執行役員
4年

私はベトナムに6回行ったことがあります。 聞かせてあげましょう!



1 1996

最初は1996年、観光客としてベトナムを訪れました。ハノイ、ホーチミン市、そしてサパを訪れました。当時、私は23歳でした。

2 2015

2回目は2015年、ベルシステム24の社員として、現地調査のためにベトナムを訪れました。この時初めてホアサオ社を訪問しました。皆さん、これらの写真に見覚えはありますか？



3 2017

3回目は2017年、再度ホアサオ社を訪問しました。今回は、パートナー企業の方々と一緒に訪問し、契約を締結しました。

4 2017

4回目は同じく2017年、家族と一緒にベトナムに戻り、観光を楽しみました。



5 2023

5回目は2023年、執行役員としてベトナムを訪れました。この時、会社は大きく変わっていました。プロジェクト数と売上が増加し、素晴らしいと感じました。



6回目はどうでしたか？



2025

6回目 - それが今、2025年です。皆様と一緒に、有意義な経験と楽しい思い出を作りたいという願いを持ってここに来ました! これからの日々を楽しみにしています。



私の仕事に対するモットーについてお話ししたいと思います。

- - ポジティブ、主体的、楽観的な精神を持つこと
- - 行動する際には、常に相手の立場に立って考えること
- - 結果よりもプロセスを重視すること
- - チームワークを尊重し、共に努力し、仕事を楽しむこと
- - 関係性において平等な職場環境を構築すること - 誰もが自分の意見を共有できる場所であること

Thank you



WOW!

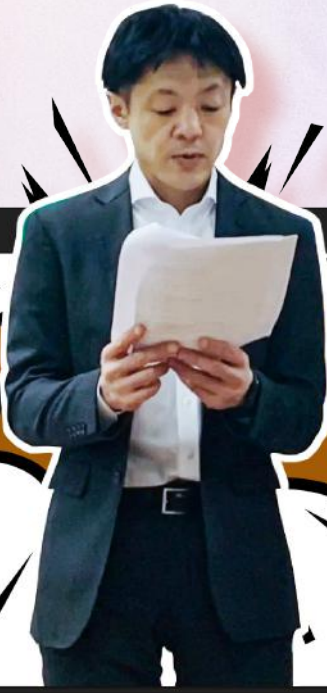
新社長 初訪問

月中旬、平野隆之新社長は、前社長である松本泉氏と共に、社長として初めてホアビン、ヴィンフック、ホーチミン市のベルシステム24ベトナム各拠点をご訪問されました。今回の訪問では、平野社長は各センターおよび部門の代表者から、実際のプロジェクトの管理および運営状況について直接お話を伺われました。



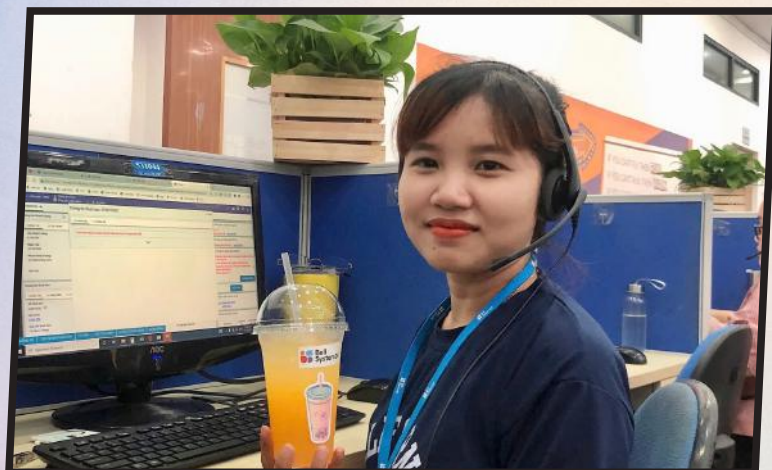
PVI-アサヒハノイプロジェクト、2月の優秀社員を表彰

3月14日、パートナー企業であるアサヒの代表として、三浦智高様（日本国外事業部 ベトナム担当マネージャー）が来社され、2月において最も優れた成果を上げたチームリーダー及びエージェントを表彰されました。これは、貢献度の高いBSVerを表彰し、素晴らしい結果を称えるために毎月実施されている取り組みです。表彰に加えて、パートナー企業の代表者様はプロジェクトを訪問されるたびに、親しみやすく有意義な話をしてくださいます。今回は、「ありがとう」と「すみません」の違い、そして日本語での感謝の伝え方について共有くださり、BSVerがより深く理解し、正しく使い分けられるようにご指導くださいました。



「料金制限」デーにBSVERを応援！

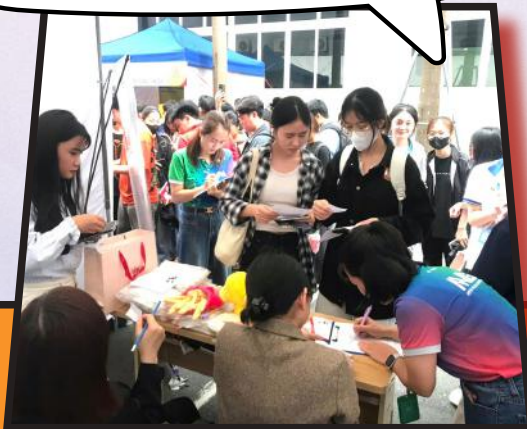
3月16日、ダナンセンターは、Viettelプロジェクトの「料金制限」の日にエージェントの皆様を応援するため、フルーツジュースをプレゼントする活動を実施しました。



採用部（FHRD）と月中の積極的な採用活動を展開

FHRは、3月を通して積極的に採用活動を展開しました。ハノイ市内の各拠点責任者との連携を強化するとともに、市内で開催された様々なイベントに相次いで参加しました。

3月15日 - 工業経済技術大学「企業連携・就職相談フェア2024-2025」



3月19日 - FPTポリテクニク短大での「キャリアの悩みを解決！誰が助けてくれる？」ジョブフェア



3月23日 - 人文社会科学大学での「採用企業との連携・就職フェア202」



3月24日 - 大南大学主催「ハドン区就職面談会」



FHRDは、密なスケジュールの中、各イベントにおいて入念な準備を徹底し、採用活動において有望な成果を上げました。BSVの職務に関心を持ち、応募書類を提出した応募者は500名を超え、2025年のBSVの事業規模の維持・拡大に向けた意欲を示唆しています。

南部事業部、大学生向け採用活動を展開

同じく今月、CSグループの採用チームは、ホーチミン市の大学で若い労働者を対象とした様々な活発な活動を展開しました。

3月19日 - ヴァンヒエン大学の商業英語学科の学生37名を迎え、BSVが彼らの目標やキャリア志向に合った仕事を紹介しました。



3月21日 - ホーチミン市工科大学のジョブフェアでキャリア相談を行い、就職支援が必要な280名分の個人情報収集し、13件の履歴書を直接受け付けました。



グローバルビジネス部主催、生け花ワークショップ開催

3月19日から21日にかけて、法務・コンプライアンス部は、引き続き南部事業部およびホーチミンセンターにて直接コンプライアンス評価プログラムを実施しました。内容は以下の通りです。

- ★ 会社の規定・規則に基づいた各部門のコンプライアンス活動の検証
- ★ 情報セキュリティ対策
- ★ 個人データ保護
- ★ 内部管理

体系的かつ規律ある職場環境の構築・発展を目指し、法務・コンプライアンス部は改善すべき点を指摘し、各部門が今後改善に取り組むよう促しました。





仕事



グローバルビジネス部での生け花アート

ベトナムと日本の文化交流の一環として、グローバルビジネス部は今月、第一弾となる「生け花ワークショップ」を開催しました。小谷理恵氏の指導のもと、エージェントの皆さんは日本の伝統的な生け花芸術について学び、色鮮やかな花々を使って自分だけの作品を制作しました。





love



BSVERSとのオープンな対話



Konichiwa! Xin chào!

KANAKO TACHIBANA

YOB: 1994

Nationality: Japan

A single-happy girl



1.

世界15カ国を巡りました。

2.

自然の奥深さを知り、人間の心の機微に触れたいと願っています。

3.

大学では、国際経済やアフリカの歴史学を専攻していましたが、今はひよんなことから経営企画の仕事をしています

4.

いつも元気で自信に満ち溢れているように見えているようですが、実は結構内向的な性格です

ME WITH
"AODAI"



それは、戦略企画部を率いる橘加奈子氏の特別なところ—太陽の国から来た、親しみやすく魅力的なマネージャーだ。3時間に及ぶインタビューでは、彼女のパーソナルな一面に触れるとともに、現代を生きる女性たちの夢と課題に対する、日本人女性ならではの視点を垣間見ることができた。

ベトナムの生活にはすぐに馴染めました



こんにちは、加奈子さん！ 本社オフィスでは橘さんと呼びしていますが、加奈子さんって呼んでほしいんですよね？

そうなんです！ ぜひ、加奈子って呼んでください！ その方が親しみやすいし、距離が縮まる気がします！



ベトナムに来られて、もう1年になるんですね。



そうですね、去年の4月にベトナムに来て、6月に戦略企画部で正式に仕事を始めました。



こちらの環境や生活には、もう慣れましたか？

もちろんですよ！ 私、すごく適応能力が高いんです。何でも美味しく食べられるし、よく眠れるし、周りのものを何でも楽しめます！（大笑）それに、新しいことを発見したり、今まで見たことのないものを体験したいという気持ちが強いので、ベトナムでの生活に慣れるのは難しくありませんでした。もちろん、言語は外国人にとって常に壁です。でも、今もベトナム語を頑張って勉強しています。



My life in
Vietnam





勉強の時は大変なことがありますか？ 英語も堪能で、仕事でも英語を使えるのに、なぜベトナム語を勉強しようと思ったんですか？

それがですね！ BSVはベトナムに拠点を置いていて、従業員のほとんどがベトナム人なんです。多少なりとも、それが日々のコミュニケーションや仕事の妨げになるんです。翻訳ツールやAIアシスタントを使っても、正確に翻訳されているか分かりませんし。言葉が通じないことで、会話の中に一定の距離感が生まれてしまうんです。だから、私にとって一番良い解決策は、ベトナム語を勉強して、みんなのことを理解できるようになることなんです。もちろん、一朝一夕にはいきませんがね！



本当に学ぶ意欲が旺盛ですね！ 加奈子さんと接していると、いつも自信がオーラのように出ているように感じますよ。



(大笑) そう言っただけで嬉しいですけど、実際は全く逆で、私は本当に自分に自信がないんです。むしろ、自己肯定感が低いと言った方が良くかもしれません。決断力ですか...? (笑)
周りのことにすぐ不安を感じてしまうし、何でも確認しないと気が済まないんです。私は外交的な性格だと思われるかもしれませんが、実際は内向的なんです。普段は一人で過ごす時間が多くて、自分のペースで生活を楽しんでいます。



自然や地理、そして人々に情熱を注いでいます。



加奈子さんが、ご自身を内気であまり決断力がないタイプだと思っていらっしゃるのは、少し意外でした。外見からは、全く違う印象を受けますから。普段は、どんな風に「生活を楽しんで」いますか？

暇な時は、ベトナムに住んでいる日本の友達と遊びに行くこともあります。でも、仕事以外の時間のほとんどは、自然や人々について学んでいます。私は好奇心が強いので、人がなぜそう考えるのか、その思考のルーツを理解できることに、とても興味があるんです。また、地理を探究するのも好きですし、風景写真を撮るのも趣味です。





I Love Travelling

仕事以外の時間のほとんどは、自然や人々について学んでいます。私は好奇心が強いので、人がなぜそう考えるのか、その思考のルーツを理解できることに、とても興味があるんです。また、地理を探求するのも好きですし、風景写真を撮るのも趣味です。

Kanako Tachibana



自然地理がお好きなんですね。それなら、色々な国に行かれたことがあるのでは？

そんなに多くはないかもしれませんが。これまで15カ国に行ったことがあります。ベトナム、シンガポール、中国、ロシア、マレーシア、韓国、タイ... 一番長く住んでいたのは、ベトナムを除くと、アフリカの国ですね。そこで勉強していました。



わあ！ずいぶんとユニークな選択ですね。若い人たちは、もっと都会的で賑やかな国に行きたがるものだと思っていたので。アフリカには、どれくらいいたんですか？

約1年です。そこで生活して、勉強していました。本当に貴重で、意味のある時間でした。アフリカ史を専攻していたので、そこに行くのは当然のことだったんです。それに、世界や人々について学ぶのが本当に好きなので、アフリカも例外ではありません。実は、私の専攻と仕事に繋がりが無いと思われるかもしれませんが、歴史を学ぶことは、どんな戦略を立てる時にも、深い洞察力を与えてくれるんです。歴史から、私たちは多くの重要なことや、未来へのヒントを学ぶことができます。



🔍 Her moments in Africa... ×



SOUTH AFRICA

いつも仕事も育児も両立している女性たちを尊敬しています。



3月なので、女性をテーマに話しましょうね。加奈子さんは知っていると思うんですが、ベトナムでは、若い女性に「いつ結婚するの？」って聞くのが上の世代の人たちとの間でよくあることなんですよ。日本でも同じようなことってありますか？

(笑) ありますよー！ うちの中、実家に帰るたびに、両親とか、おじいちゃんおばあちゃんとか、親戚の人から「結婚まだー？」って聞かれるし、結婚とか出産を急かされたりもしますね。ベトナムも日本も一緒に、やっぱり世代間で考え方が違うんだなって思います。私たちは若い世代は、仕事も自分の生活も大切にしたいんですよね。親の世代とか、上の世代の人たちも、だんだんその辺を理解してくれるようになってきましたけど、おじいちゃんおばあちゃん世代は、やっぱり女性は25歳から30歳くらいの間には結婚して子供を産むべきだって考えてるみたいです。でも、私はいつも「自分の生活も大事にしたいし、もっと自分を磨きたいから」って言ってます。年齢に縛られたくないし、いい人に巡り合えたら結婚するかなって。最近、あんまり言われなくなったけど (笑)。





少子高齢化が進む日本だから、特に若い世代、中でも若い女性の結婚問題には、みんな関心が高いのかもね。

本当にそうだと思います。今は、日本人も結婚とか出産に対してオープンになりつつあって、義務だって思う人も少なくなってきた感じがしますが、日本は少子化が世界でも特に進んでいることもあって、上の世代は若い世代に子供を産んでほしいとか、その子供たちが期待されて育てて生きていくことを願ってるんじゃないかな。私や若い世代では、自分の子供が強いプレッシャーや期待を背負わされて不安な状態で生きていくことを望まない人が増えている気がします。私の何名かの友人も、同じ理由で子供を産まない選択をした子がいます。



男女平等が進んで、今の時代は女性の役割も広がって、すごく大事にされるようになったけど、結婚とか出産を決める時には、やっぱり何かを犠牲にしなきゃいけないこともありますよね。

私はベトナムで、多くの若者が仕事をしながら子育てを両立している状況をよく見かけ、その姿に深く感心しています。恐らくそれを可能にしているのは、子育てをするにあたって、両親をはじめとした周囲の手厚いサポートを受けられる環境にいるからだと思います。一方で日本では、実家から離れて仕事をする場合が多く、子育て中に親の支援を十分に受けられないのが現状があります。また、少しずつ状況は改善されつつあるものの、依然として育児は女性が中心となって担っており、時に男性を羨ましく感じることもあります。女性が子供を持つということは、健康や時間、その他にも言葉では言い表せないほど多くのものを犠牲にすることを覚悟する必要があります。しかし、それでも子供を身籠るということは女性にしかできない貴重な経験であり、女性の特権であるとも感じています。





そうですね。働くのが好きなんです。働いてないと、なんか自信がなくなっちゃうし。それぞれの段階で目標を立てて、勉強したり、仕事したり、その時できることを楽しんでます。夢もあるし、それを追いかけてます。



加奈子さんの話を聞いていると、いつも目標をちゃんと持って、自分のキャリアのために頑張っているんだなって思います。

そうですね。働くのが好きなんです。働いてないと、なんか自信がなくなっちゃうし。それぞれの段階で目標を立てて、勉強したり、仕事したり、その時できることを楽しんでます。夢もあるし、それを追いかけてます。



...男性はどちらかというと出世志向が強いのにに対して、女性は周りの人をサポートすることに重点を置く傾向があると思います。



やっぱり、女性は以前のように仕事に打ち込むのが難しくなりますよね。健康面でも時間面でも、どうしても中断せざるを得ないことがあるし。夢を追い続けられる人もいるけど、ほとんどの人は、ある程度の期間、中断せざるを得ない。場合によっては、かなり長い期間になることもありますよね。でも、BSVのスタッフの7割以上が女性というのはすごいですね。BS24も同じような感じですか？

そうですね。BS24も、社員の約7割が女性です。でも、違うのは、管理職になると8割が男性なんです。





管理職としての男性と女性で、違いは何だと思えますか？

もちろん100%そうとは限らないけど、多くの場合はこうだと思います。管理職になると、男性は出世欲や野心が強い人が多いですよ。一方、女性は、みんなをサポートしたり、思いやったり、理解しようとしたりする人が多いかなって。これが男女の違いかなと思います。もちろん例外はありますけどね。



男女平等は、世界中で関心を集めているテーマですよ。ベトナムでは、政府や国民が長年、性差別をなくすために努力してきました。若い世代は、学校で男女平等について学び、女性や少女を対象とした活動に参加しています。もちろん、これは長いプロセスで、考え方や偏見を完全になくすのは難しいですよ。日本はどうですか？

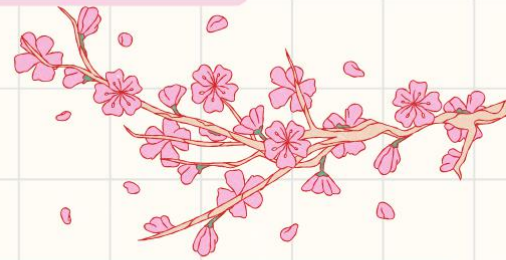
以前の日本は、重要なポジションの多くを男性が占めていました。ここ数年は、政府が企業に向けて女性を管理職に登用するための方針を打ち出したこともあり、女性登用が進んできています。しかしこれが新たな課題を生んでいるようにも思います。登用される役職に対してスキルや経験が十分ではない女性が押し上げられるケースもあります。もし私が同じ立場だったら、その役割を担う自信がなく不安で押しつぶされそうになると思います。逆に、昇進したいと思っている男性が、会社の男女のバランスを保つために昇進が保留になる場合も考えられます。そうすると、男性は不満を感じたりする場合もあるでしょう。それって本当の意味での平等ではないのかもと感じます、もちろん全員が納得する形をとるのは難しいとは思いますが。



すべては時間がかかるものだと思います。まず、考え方や偏見を変えることから始めて、その上で、女性が学び、成長し、仕事の能力を高める機会を促進するための包括的な政策が必要だと思います。



そうですね。それでも、私の国では少しずつ変化してきました。以前は、日本の企業の多くは男性が経営していたので、女性の意見や考え方が受け入れられないこともありましたが。でも今は、企業も女性の役割や働き方、考え方を理解するようになってきて、女性が会社で働きやすくなっていると思います。





加奈子さんは内向的な性格で、自信がない人間と言っていましたが、自分の意見を言うときはとても自信があるように見えますよ！目標にしている女性像はありますか？

内向的な性格ではありますが、人と話すのは大好きです。人と話すことで新しいことを学べるし、自分の経験をより深くすることができるので。憧れの女性はいませんが、一番影響を受けているのは、私の母です。母はパワフルで、勇敢で、仕事が好きでいつも一生懸命です。30年以上、小学校の養護教諭をしていて、昨年定年退職しましたが、いまでもその仕事が好きなので継続して働いています。



BSVの女性たちに何かメッセージはありますか？

仕事と家庭のバランスをうまく取っている女性たちを、本当に尊敬しています。今、人生のどの段階にいて、どんな選択をしていたとしても、仕事に完全に集中している人も、家族や子供に時間を割いている人も、常に喜び、幸せ、そして意義のあるものを見つけたいと思います

じゃあね
Goodbye!





UP LEVEL



採用部のGenZ世代のBSVer 2名が昇進！ 採用担当から採用スペシャリストへ



Nguyễn Phương Hảo

Lê Thị Hoài Phương



CHIẾN BINH
TUYỂN DỤNG

SAO MAI
TUYỂN DỤNG



ON TOP

テッテレテッテーン!!! 2月、「OnTop」に輝くのは誰だ!?



FHR Division



Nguyễn Phương Hảo



Trần Thu Hà



Lê Thị Hoài Phương



Southern Business Division



Nguyễn Trọng Phú



Phạm Thị Mỹ Truyền



Nguyễn Win



Hồ Thị Xuân Lành



Lê Vĩnh Toàn



Northern Business Division



Hồ Văn Toàn



Global Business Division



Vũ Mạnh Trường



Hoàng Nhật



Cấn Thị Hoa



Trần Ngọc Mi



Lê Hải Yến



Nguyễn Văn Mạnh



Phạm Văn Ánh

Telecommunication Division



Hoàng Thị Tết Na



Phạm Thị Hằng



Hơ Thị Duyên



楽しく遊
ぼう！

仕事に戻る前に、少しリラックス
しましょう！



6 論理の誤謬

あなたもよく陥っているかもしれませんが、
気づいていないかもしれません



対話とは、単に聞き、話し、答えるだけでなく、言葉や口調を通して相手の視点、願望、感情を理解することです。建設的な対話とは、最終的なコミュニケーションの目的が達成され、提起された問題が解決される状態を指します。しかし、対話の過程においては、意見や考え方の相違から、議論や反論が生じることは避けられません。そのような時、私たちは論理原則から逸脱した誤った推論、すなわち詭弁に陥りがちです。そして時には、それが非常に身近で頻繁に起こるため、私たち自身も詭弁を弄していることに気づかず、認めようとしなないことがあります。あなたは、以下の6つの詭弁のうち、どれかに陥っていませんか？

1 埋没費用 (サンクコスト) の詭弁

これは、効果を本当に考慮する代わりに、多くの労力や資金を投資したという理由だけで、ある選択肢を追求し続ける場合に起こります。この誤りに陥ると、たとえ良い結果が得られないと理解していても、費やしたものを惜しんで、行っていることを維持しようとしがちです。

考えてみてください。明らかに良い結果が得られないと分かっているにもかかわらず、労力とお金を費やしたという理由だけで、何かを追求し続けるとどうなるのでしょうか？ それは、さらに労力を無駄にするだけです！



2 権威への詭弁 (権威主義的誤謬)

これは、説得力のある議論を提示する代わりに、権力（または時には暴力）を使って他人に自分の意に従わせようとする誤謬の一種です。これは、対話の効率を低下させるだけでなく、職場環境を緊張させ、開放性を欠いたものにします。権力を行使する代わりに、論理と実際のデータに基づいた議論を奨励しましょう。

強力な組織とは、すべての意見が傾聴され、尊重される場所です。





3 人身攻撃の詭弁

問題の内容に反論する代わりに、発言者個人を「攻撃」することです。これは最も一般的な詭弁の一つであり、議論を脱線させ、改善の機会を逃すことにつながります。

優れたアイデアは、誰からでも生まれる可能性があり、その人が誰であるか、またはその分野で何年の経験があるかは関係ありません。

たぶん、この間違いをしたかもしれない...



4 偏った証拠（限定的な証拠）の詭弁

少数の個人的な例を取り上げて、一般的な議論を否定することは、コミュニケーションにおけるよくある誤りです。なぜなら、いくつかの小さなケースで問題が発生しなかったからといって、そのやり方が常に正しく、決して問題が発生しないとは限らないからです。個人的な経験ではなく、客観的に数値データと現実的な分析に基づいて判断しましょう。正しい解決策は、より大規模かつ多角的に評価される必要があります。



5 「あなたも」の詭弁

この詭弁は、ある人が間違いを指摘された時に、合理的に反論する代わりに、相手にも同様の誤りがあると指摘することで反論に応じようとする場合に起こります。これは、問題の本質を変えるものではなく、議論を単なる「報復」や口論、勝ち負け争いに変えてしまうだけです。さて、子供たちがこの方法をよく使って「言い返す」のを見たことはありませんか？（笑）他人の過ちを指摘することで問題を回避しないでください。意見が正しければ、発言者が同様の誤りを犯しているかどうかに関係なく、それは正しいはずです。

毎日何時間もティックトックをスクロールするのは、目に悪いですよ！

君もそうじゃないか！

6 伝統に訴える詭弁

本日から、週明けの会議で承認されたように、運用方法と新しい報告方法に変更します。

何年もずっとこうやってきて、結果も出ているじゃないか！ どうして変えなきゃいけないんだ！！



この詭弁は、「古いものがうまく機能しているなら、変更する必要はない」という考えに基づいています。しかし、現実には、世界は常に変化しており、過去に適切であったものが将来も効果的であるとは限りません。また、たとえ古いものがまだ効果的であっても、さらに効果的なものを作り出す機会をなぜ逃すのでしょうか？

常に挑戦、革新に寛容であり、「このやり方はまだ最適だろうか？」と自問してください。根深い習慣が、あなたの成長を妨げることのないように。

建設的な対話で



模範的で洗練された環境へ



対話の力は無限です。なぜなら、単なる質疑応答に留まらず、効果的かつ成功した対話は、協力と社会の持続可能な発展という大きな価値をもたらすからです。上記の詭弁を理解し、避けることは、コミュニケーション能力を高めるだけでなく、建設的な職場環境を作り出すことにもつながります。そこでは、対話がオープンであり、多様な意見が尊重されます。

提案箱

「Every voice matters」というメッセージを込めて、私たちは一人ひとりの声が重要であると信じています。そのため、「BSVホーム」の内容をより充実させるために、皆様のご意見をもっとお聞きしたいと考えています。役立つご意見やコーナーに適用できるアイデアをお寄せいただいた方には、感謝の気持ちとしてささやかなプレゼントを差し上げます。ご意見がありましたら、是非下のQRコードをスキャンしてくださいね！



また、「BSVホーム」へのコンテンツ提供を希望される場合は、以下のメールアドレスにご連絡ください

bsvcommunications@bell24vietnam.vn